

**株式会社東京精密**  
**2019年度(2020年3月期)**  
**第2四半期 決算説明会**

2019年11月8日

## ◆ 将来の事象に係わる記述に関する注意

- 本資料に記載されている情報は、現時点で入手可能な情報をもとに、当社が合理的であると判断した一定の前提に基づいております。
- これらは、市況、競争状況、半導体業界ならびに自動車関連業界等の世界的な状況を含む多くの不確実な要因の影響を受けます。
- 従って、今後の当社の実際の業績が、本資料に記載されている情報と大きく異なる場合がありますことをご承知おき下さい。

## ◆ 表記データ・用語について

- 注記がある場合を除き、半導体製造装置セグメントを「半導体」、精密計測機器セグメントを「計測」、また親会社株主に帰属する当期純利益を「当期純利益」と記載します。
- 記載されている金額や比率の情報は、注記がある場合を除き、億円またはパーセントによる要約表示を行っております。その為、内訳の計が、合計と一致しない場合があります。

## ◆ 監査について

- 本プレゼンテーション資料は、監査法人による監査の対象外です。

## 次第

- ◆ 第2四半期 業績説明
- ◆ 中期目標
- ◆ 2019年度 業績予想
- ◆ 質疑応答

# 2019年度第2四半期 連結業績



半期業績(億円)	2018年度		2019年度			
	上期	下期	上期	予想対比	前半期比	前年同期比
受注高	572	417	383		-8%	-33%
売上高	512	503	420	-10	-17%	-18%
営業利益 (営業利益率)	102 (20%)	100 (20%)	56 (13%)	-3	-44%	-45%
経常利益	108	100	57	-2	-43%	-46%
当期純利益	79	68	43	+1	-37%	-46%

四半期業績(億円)	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	前四半期比	前年同期比
受注高	282	290	240	177	187	196	+5%	-32%
売上高	198	314	237	266	180	240	+34%	-23%
営業利益 (営業利益率)	31 (16%)	71 (23%)	48 (20%)	52 (20%)	18 (10%)	38 (16%)	+110%	-47%
経常利益	34	74	48	52	19	38	+102%	-48%
当期純利益	26	53	35	33	14	29	+104%	-46%

➤ 半導体製造装置・計測機器セグメントともに売上減少等により減収減益

セグメント業績 (半期：億円)	2018年度		2019年度			
	上期	下期	上期	予想対比	前半期比	前年同期比
受注高	397	256	229		-11%	-42%
売上高	358	333	276	+1	-17%	-23%
営業利益 (営業利益率)	68 (19%)	64 (19%)	38 (14%)		-41%	-44%

四半期業績(億円)	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	前四半期比	前年同期比
受注高	193	204	151	105	107	122	+14%	-40%
売上高	128	230	153	180	117	159	+36%	-31%
営業利益 (営業利益率)	16 (13%)	52 (23%)	31 (20%)	33 (18%)	14 (12%)	24 (15%)	+77%	-54%

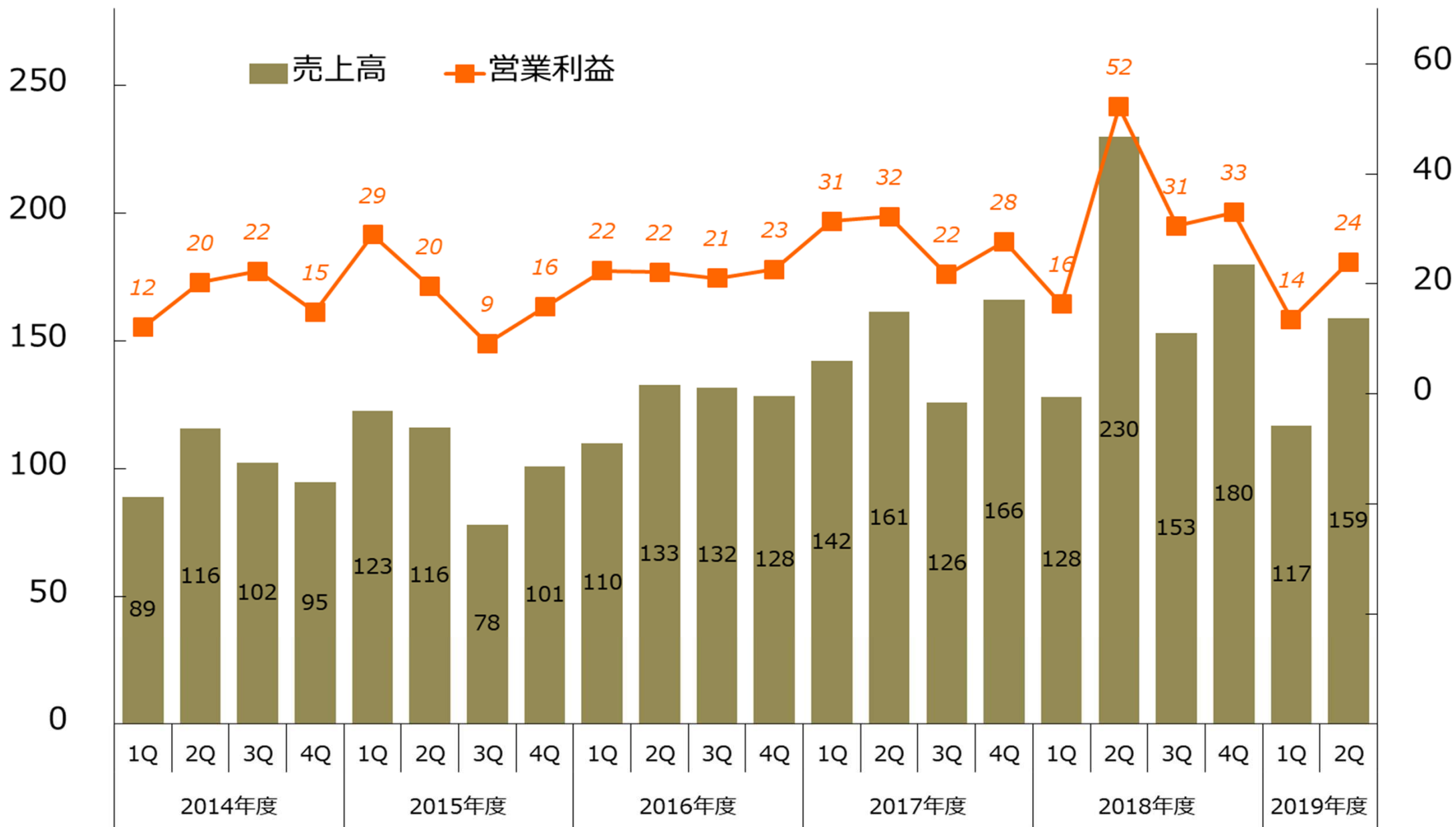
- 期初想定と比較し、受注高・売上高はほぼ想定線、営業利益はやや上振れ
- 2Qに一部 納入に時間を要している受注済案件の取消処理を実施  
結果、受注高・受注残高が約20億減少

# 半導体 - 売上高, 営業利益

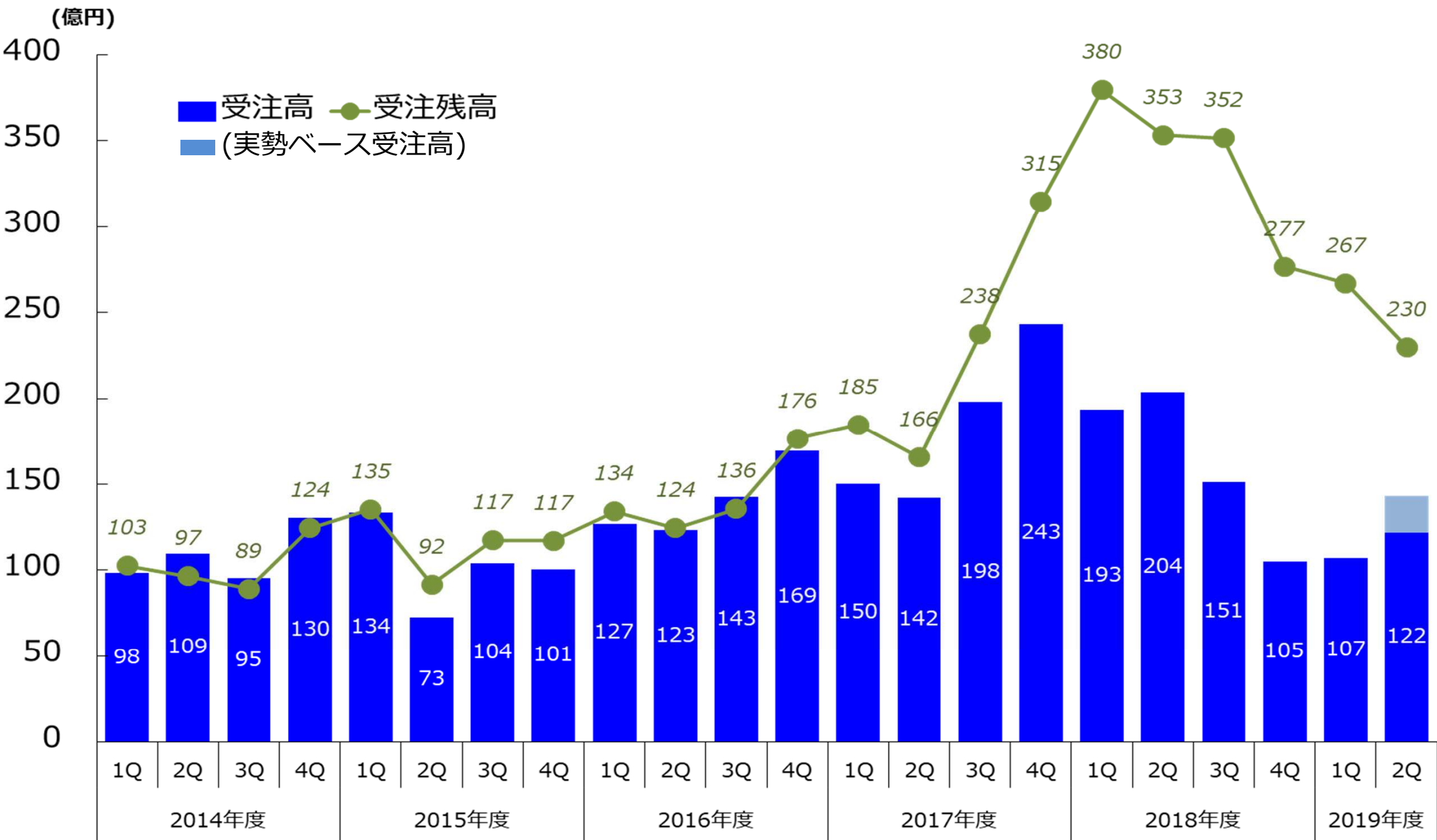


売上高(億円)

営業利益(億円)



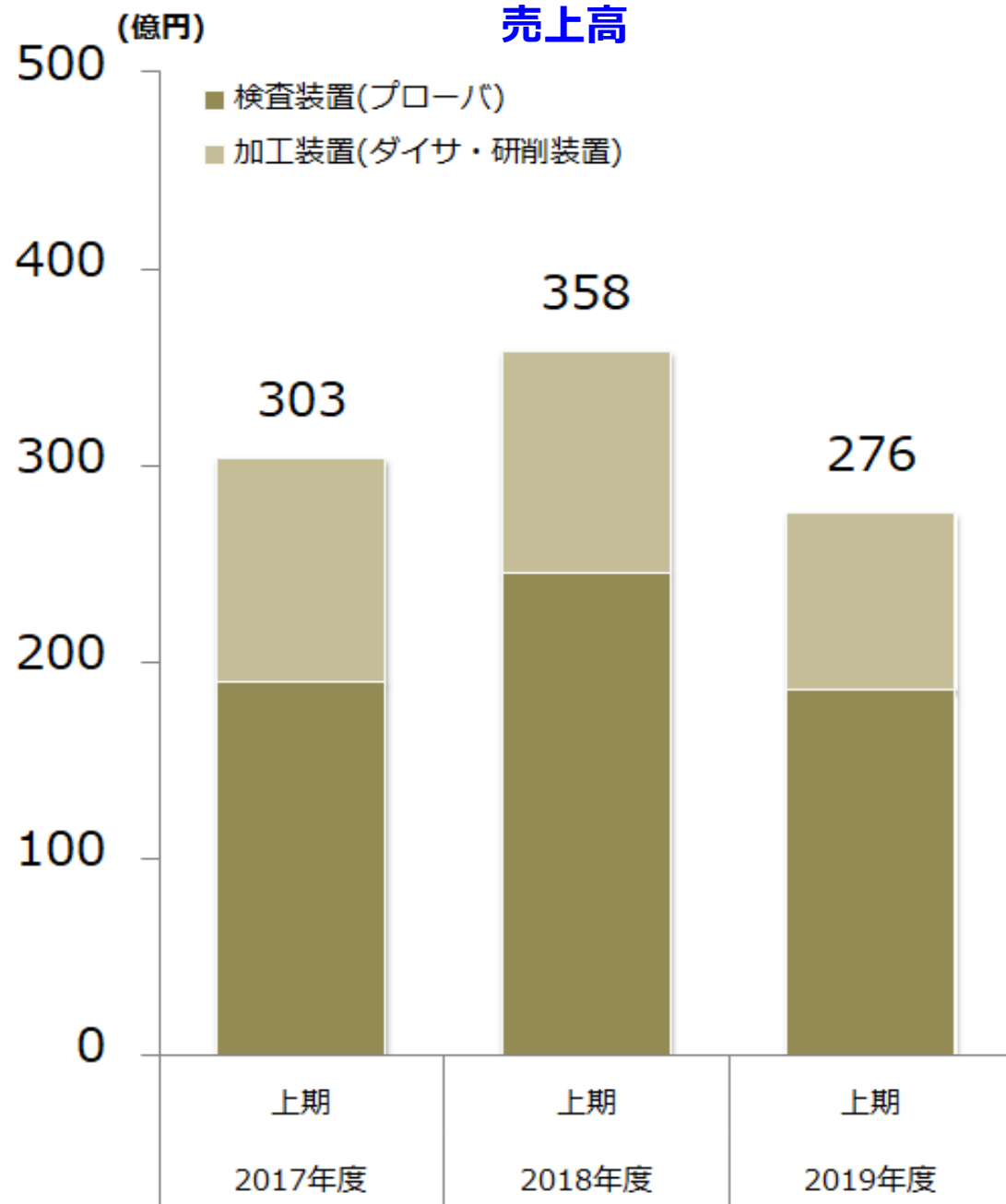
# 半導体 - 受注高, 受注残高



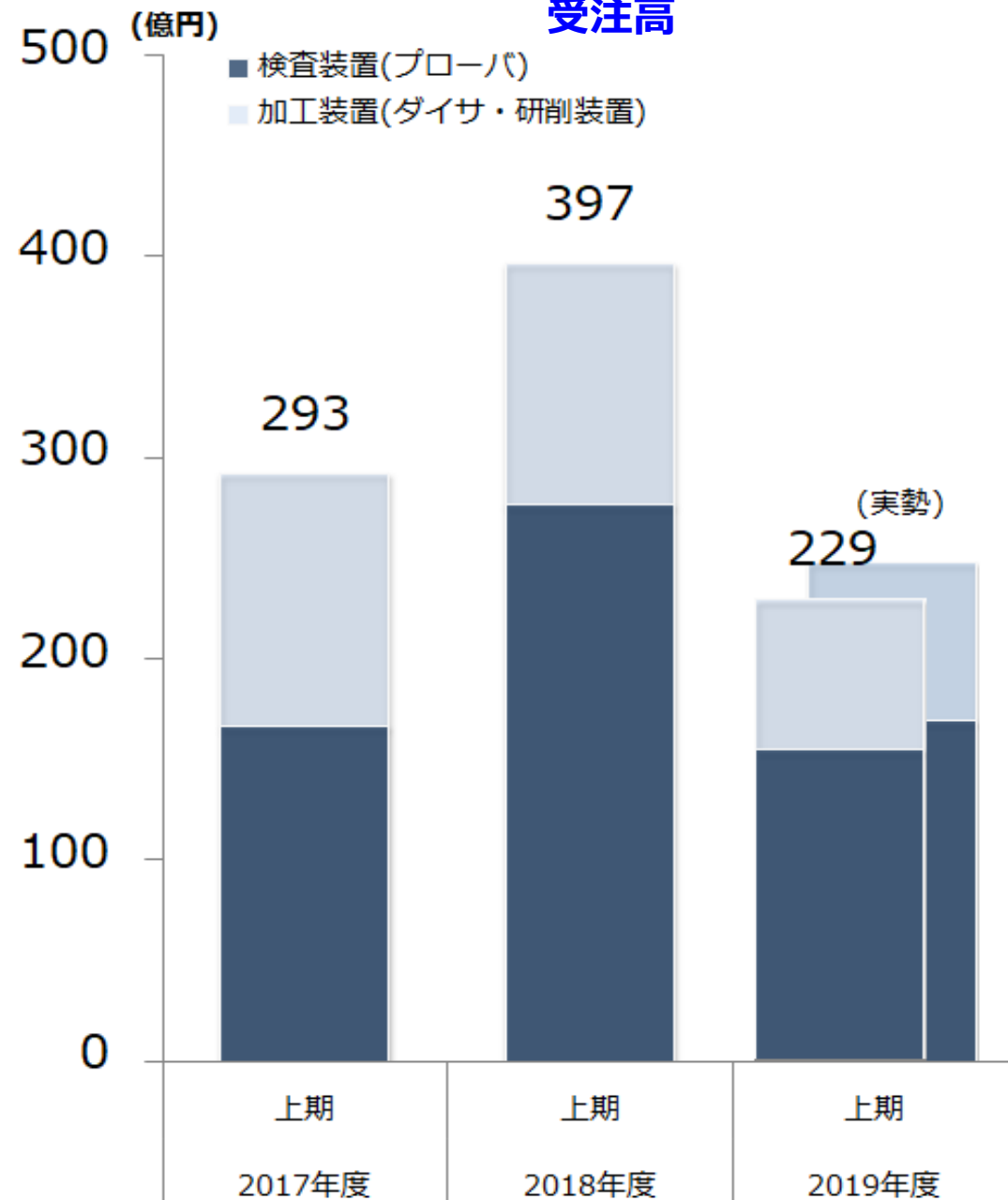
# 半導体 - 製品別動向



## 売上高

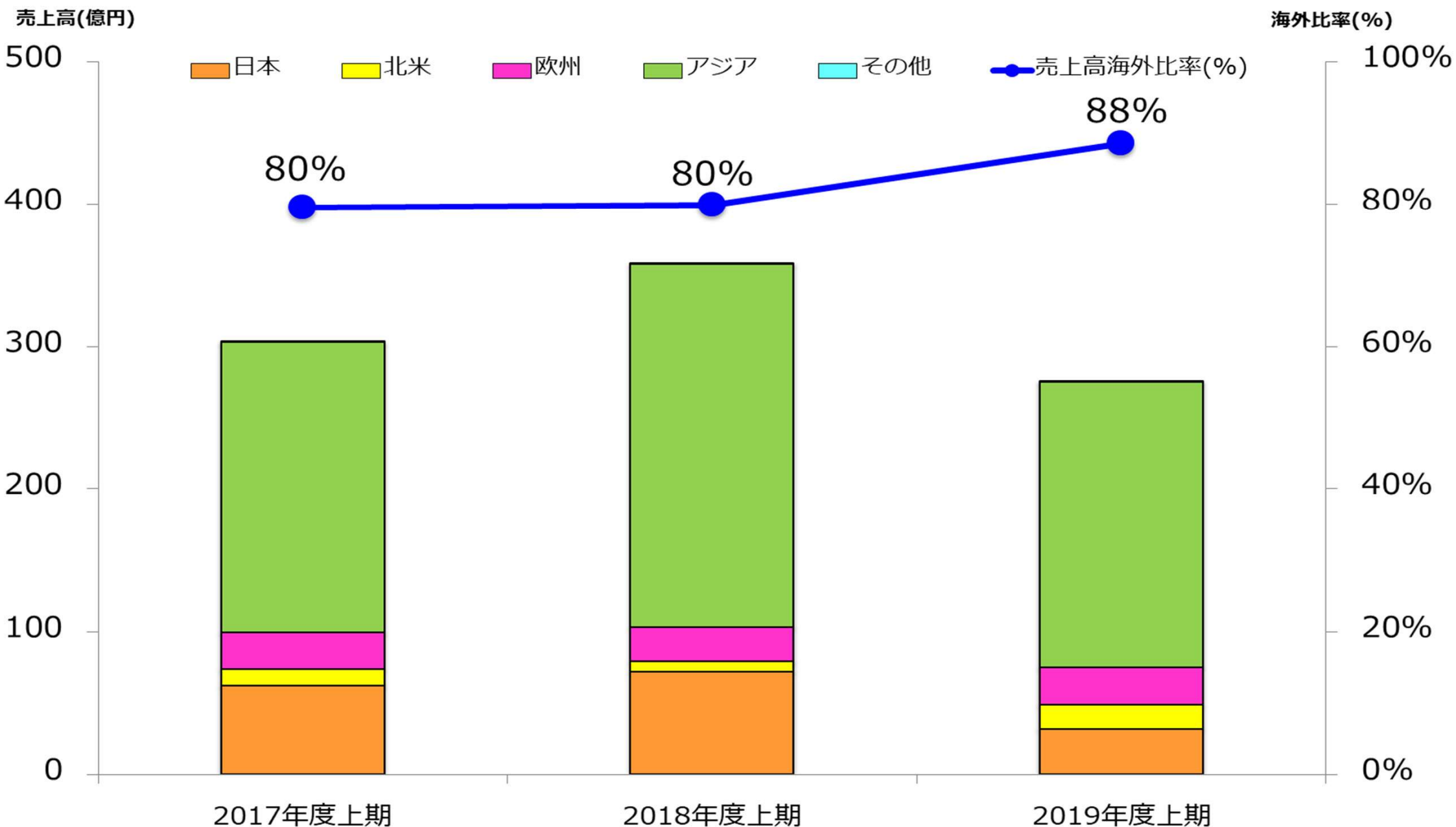


## 受注高





# 半導体 - 地域別売上高



セグメント業績 (半期：億円)	2018年度		2019年度			
	上期	下期	上期	予想対比	前半期比	前年同期比
受注高	175	161	154		-4%	-12%
売上高	154	170	144	-11	-15%	-6%
営業利益 (営業利益率)	34 (22%)	36 (21%)	18 (13%)		-49%	-46%

四半期業績(億円)	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	前四半期比	前年同期比
受注高	89	86	89	72	80	74	-7%	-14%
売上高	70	84	84	86	63	82	+30%	-2%
営業利益 (営業利益率)	15 (21%)	19 (23%)	17 (21%)	19 (22%)	4 (7%)	14 (17%)	+213%	-27%

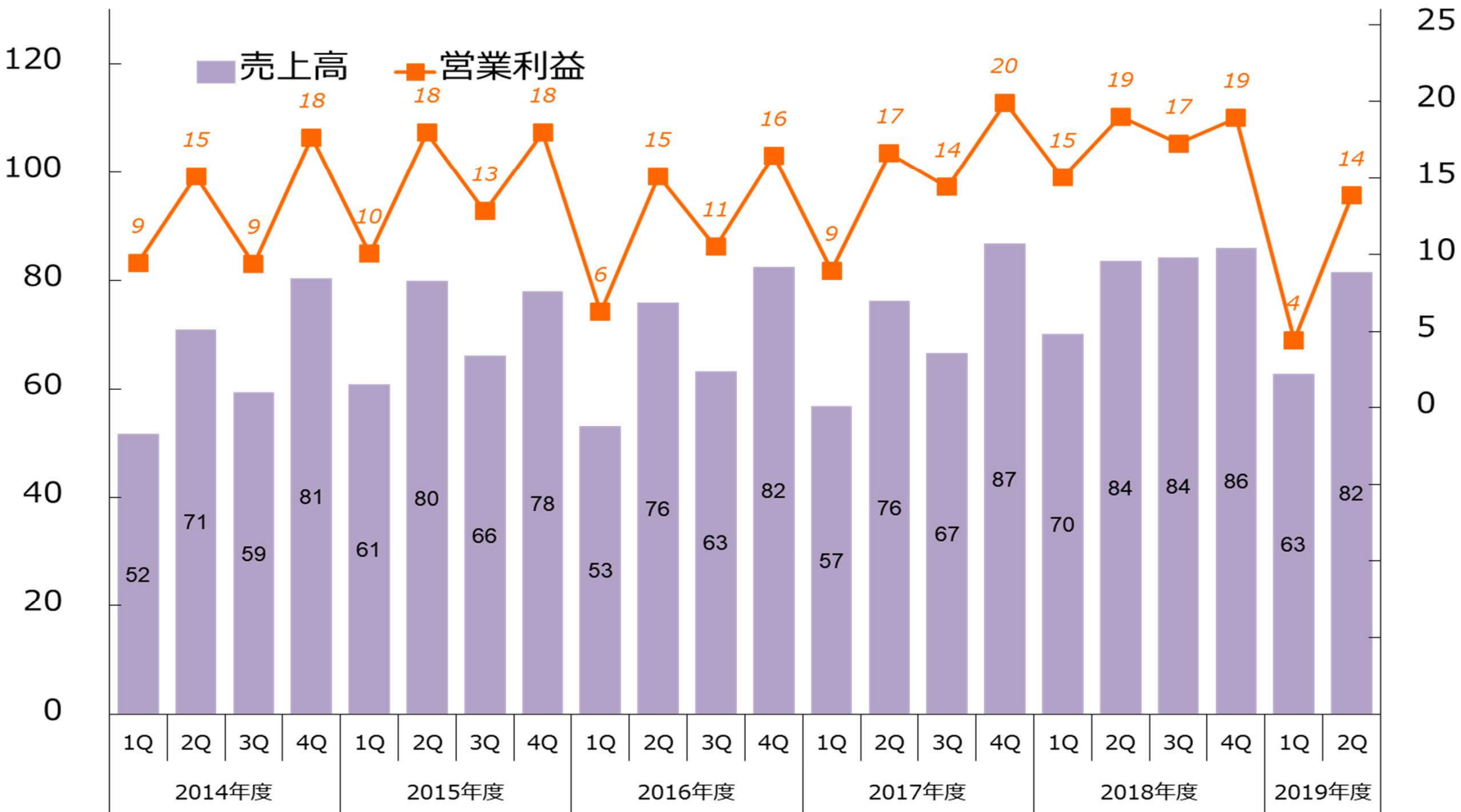
- 自動車関連顧客を中心に設備投資は慎重となり、期初想定と比較し、受注高・売上高・営業利益 いずれも下振れ
- 1Qの一過性費用(子会社退職給付費用:約2億)に加え、充放電試験システム事業の開発/改革費用が営業利益を押し下げ

# 計測 - 売上高, 営業利益



売上高(億円)

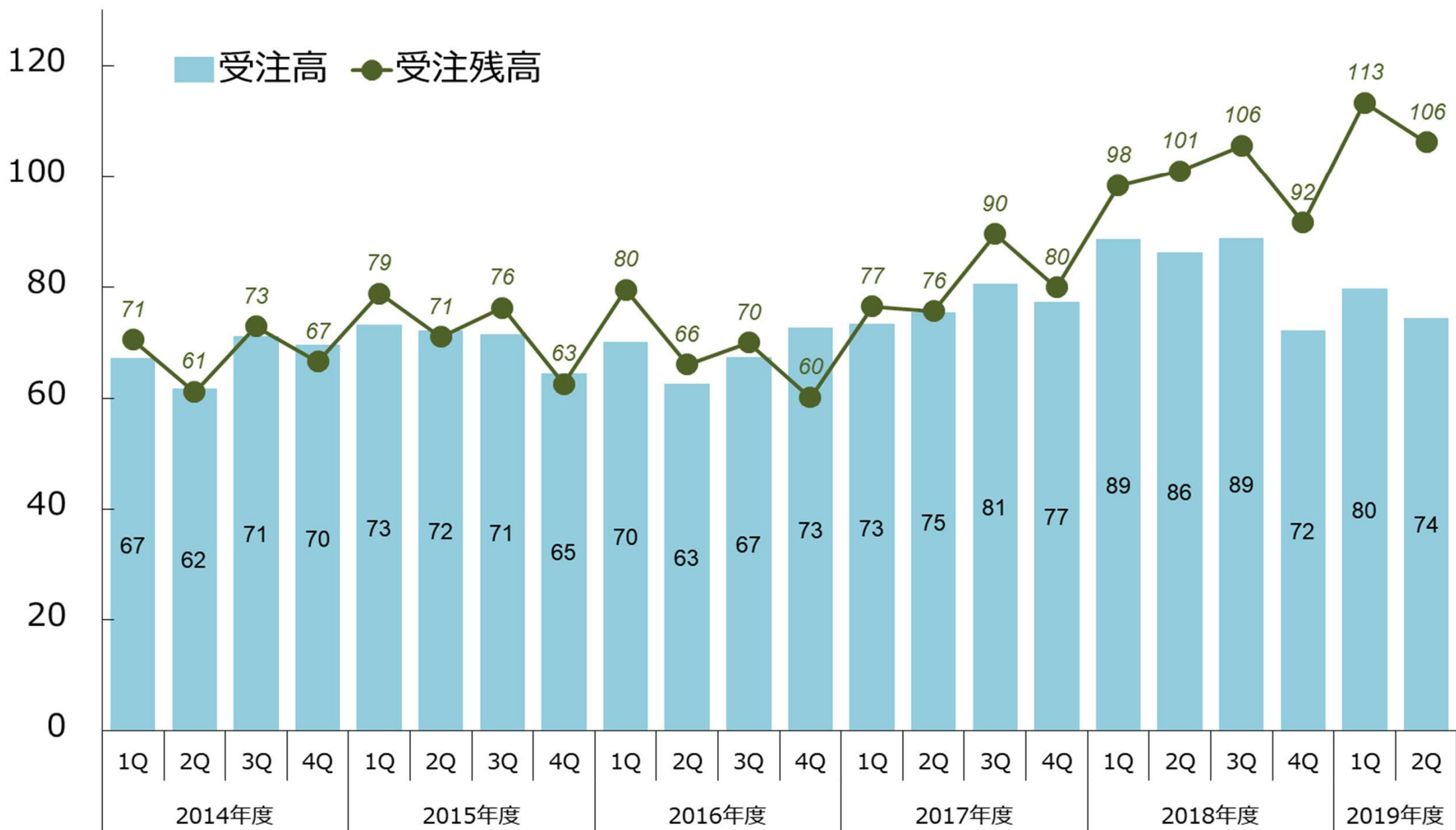
営業利益(億円)



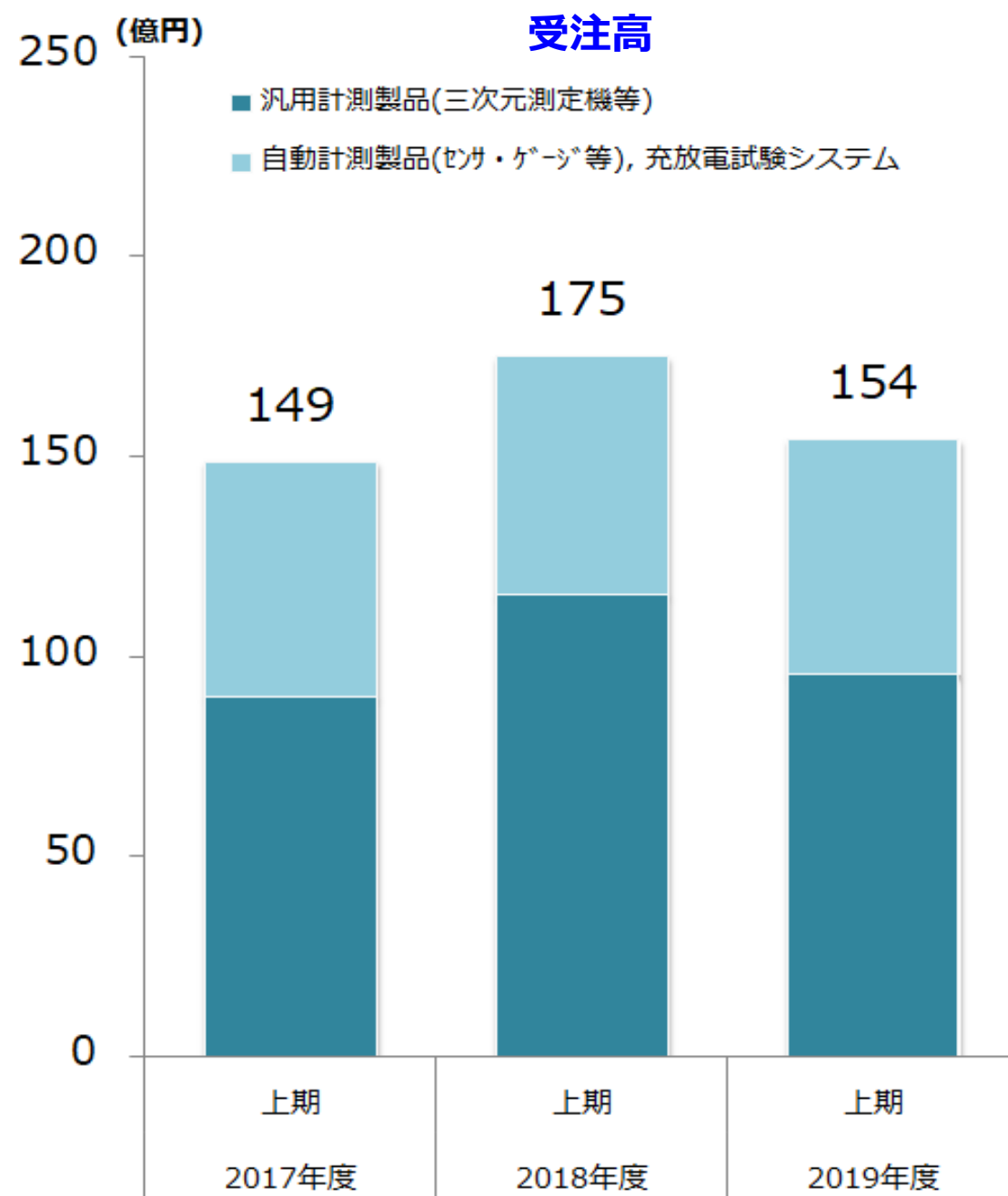
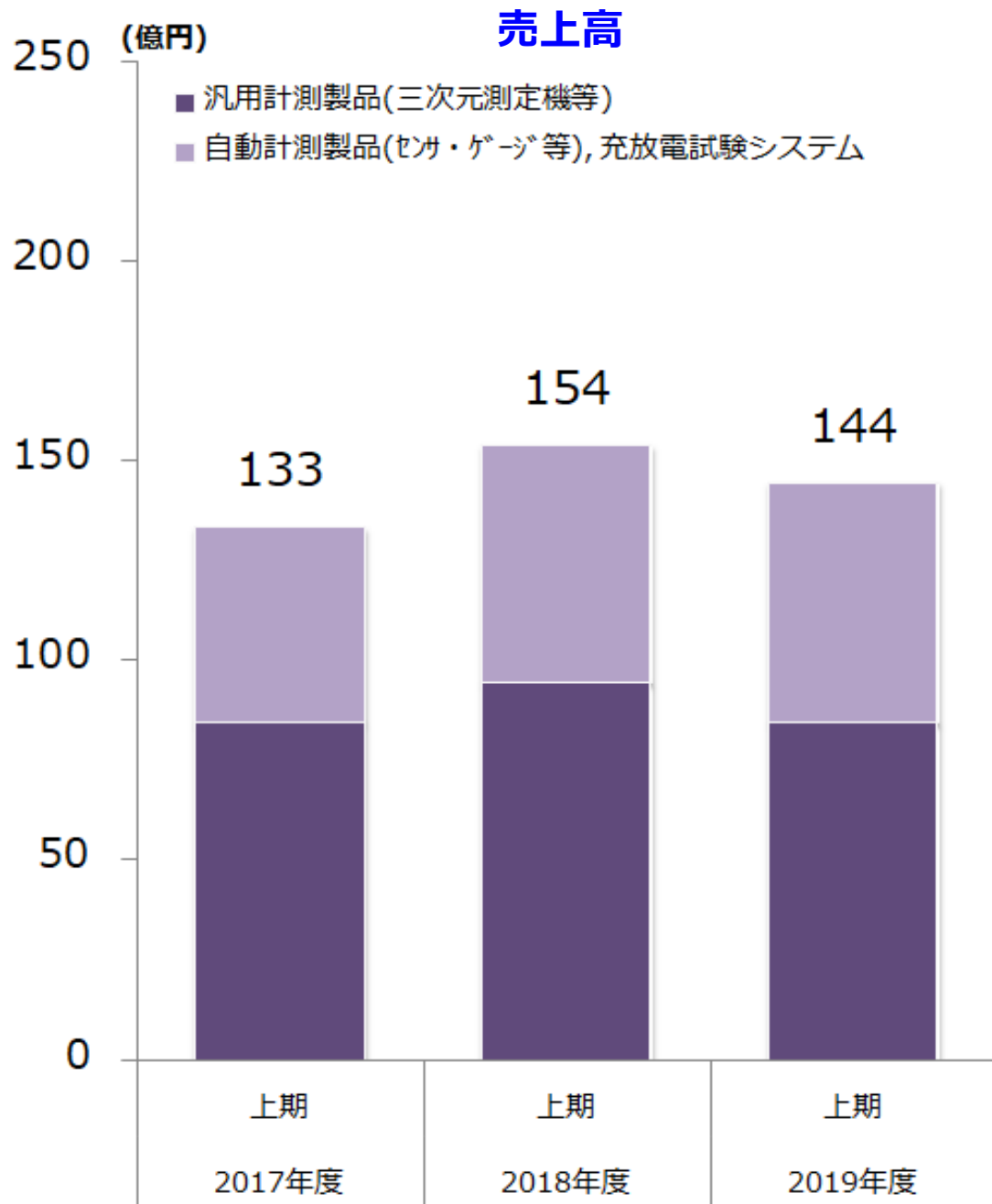
# 計測 - 受注高, 受注残高



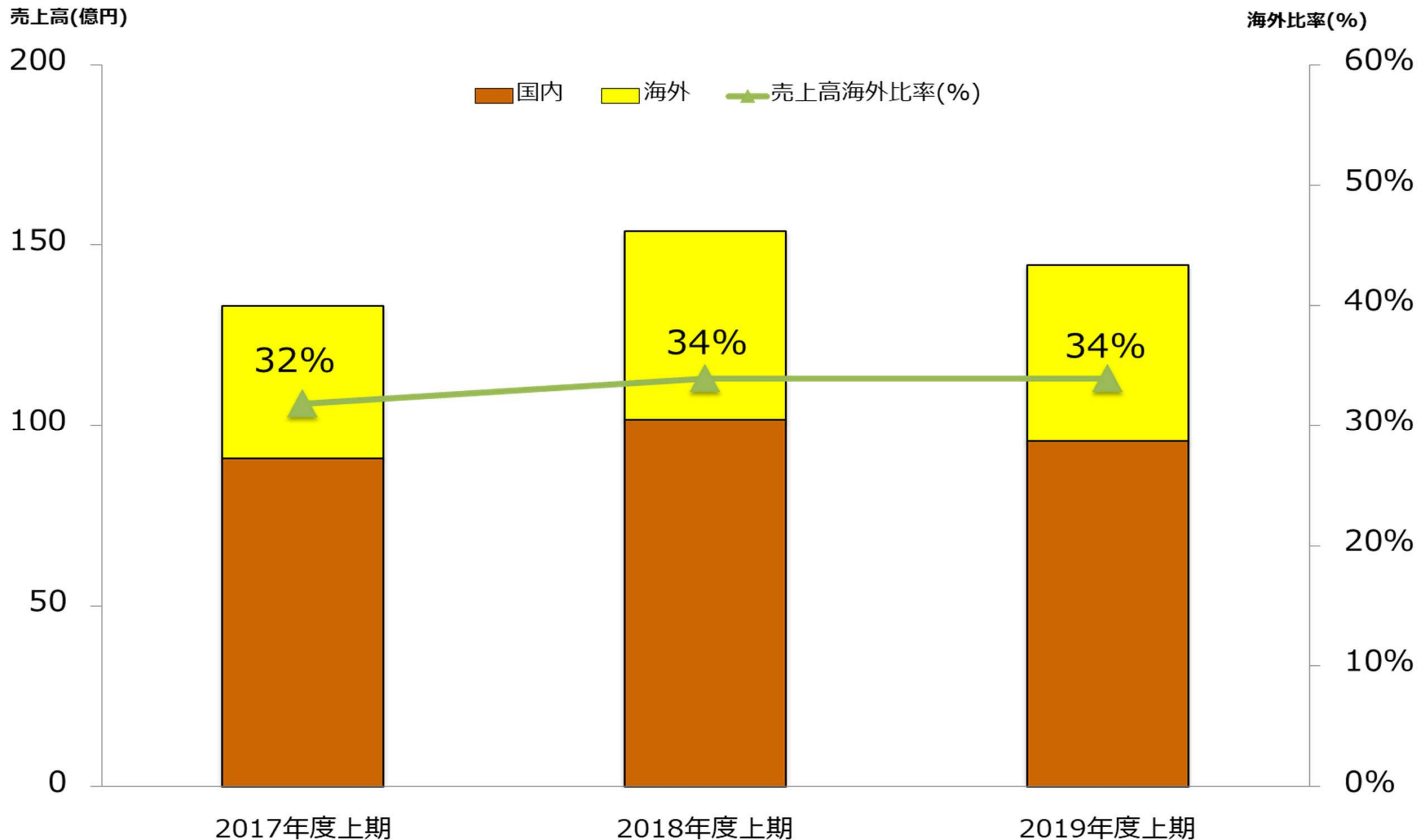
(億円)



# 計測 - 製品別動向



# 計測 - 地域別売上高

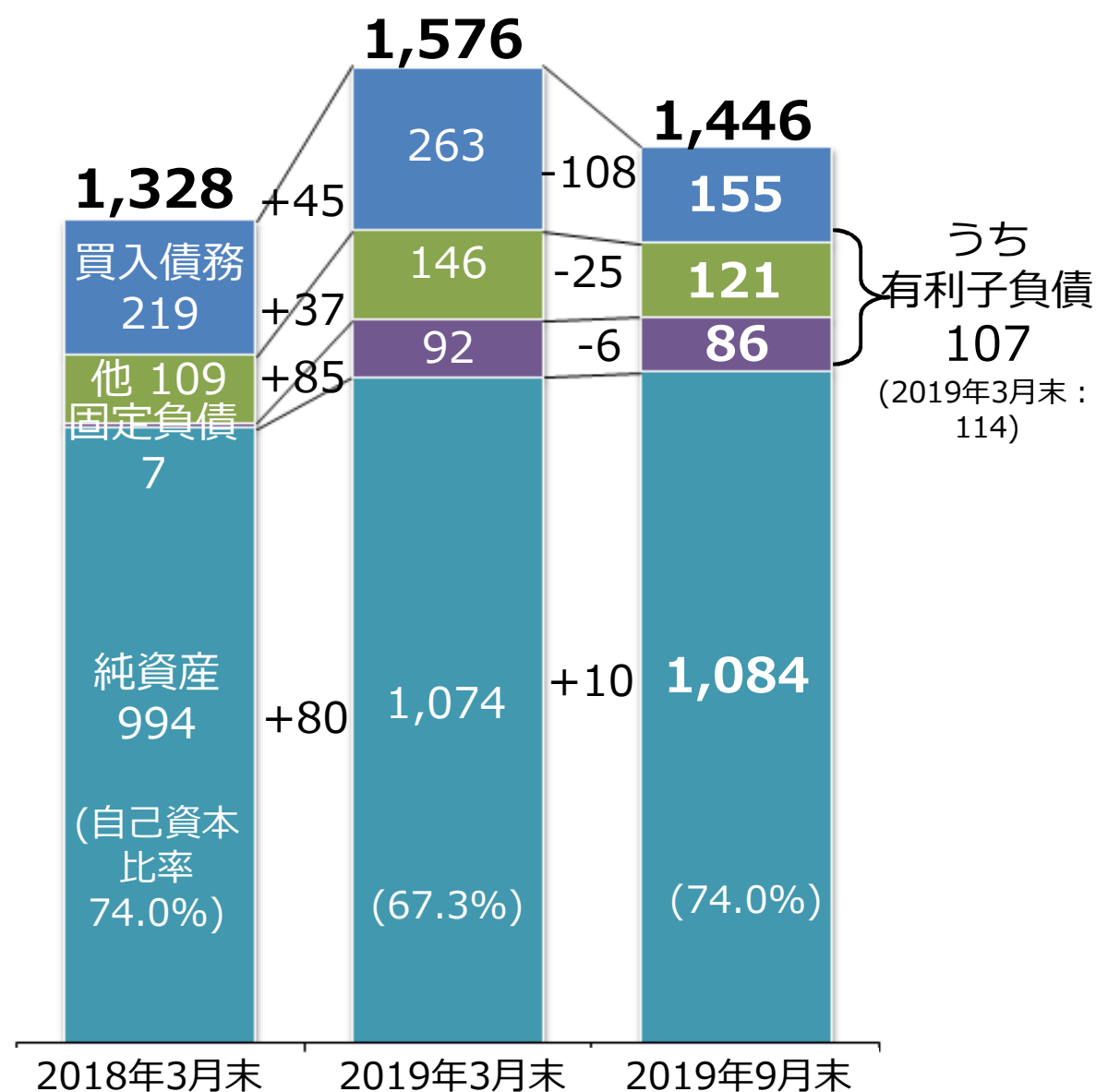
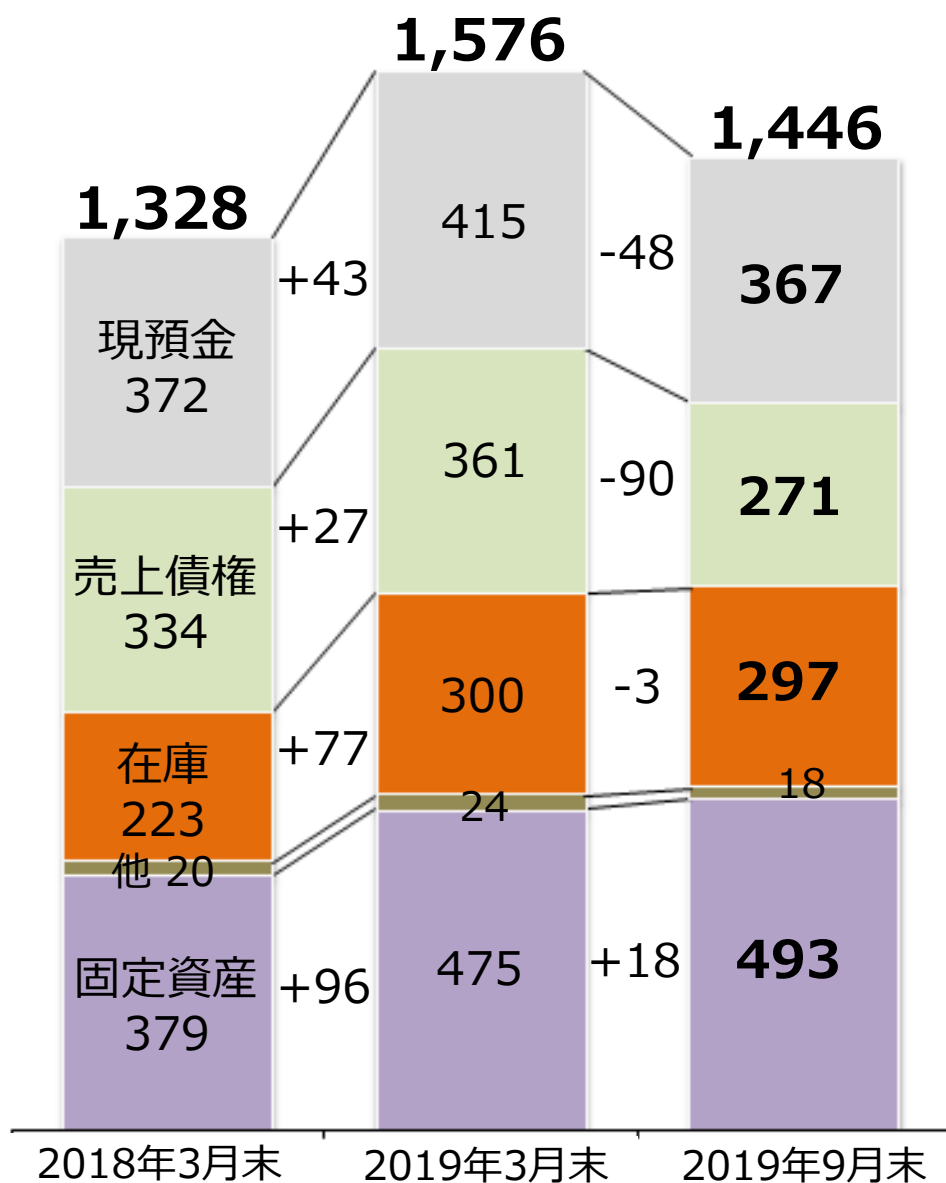


# 貸借対照表



資産の部(億円)

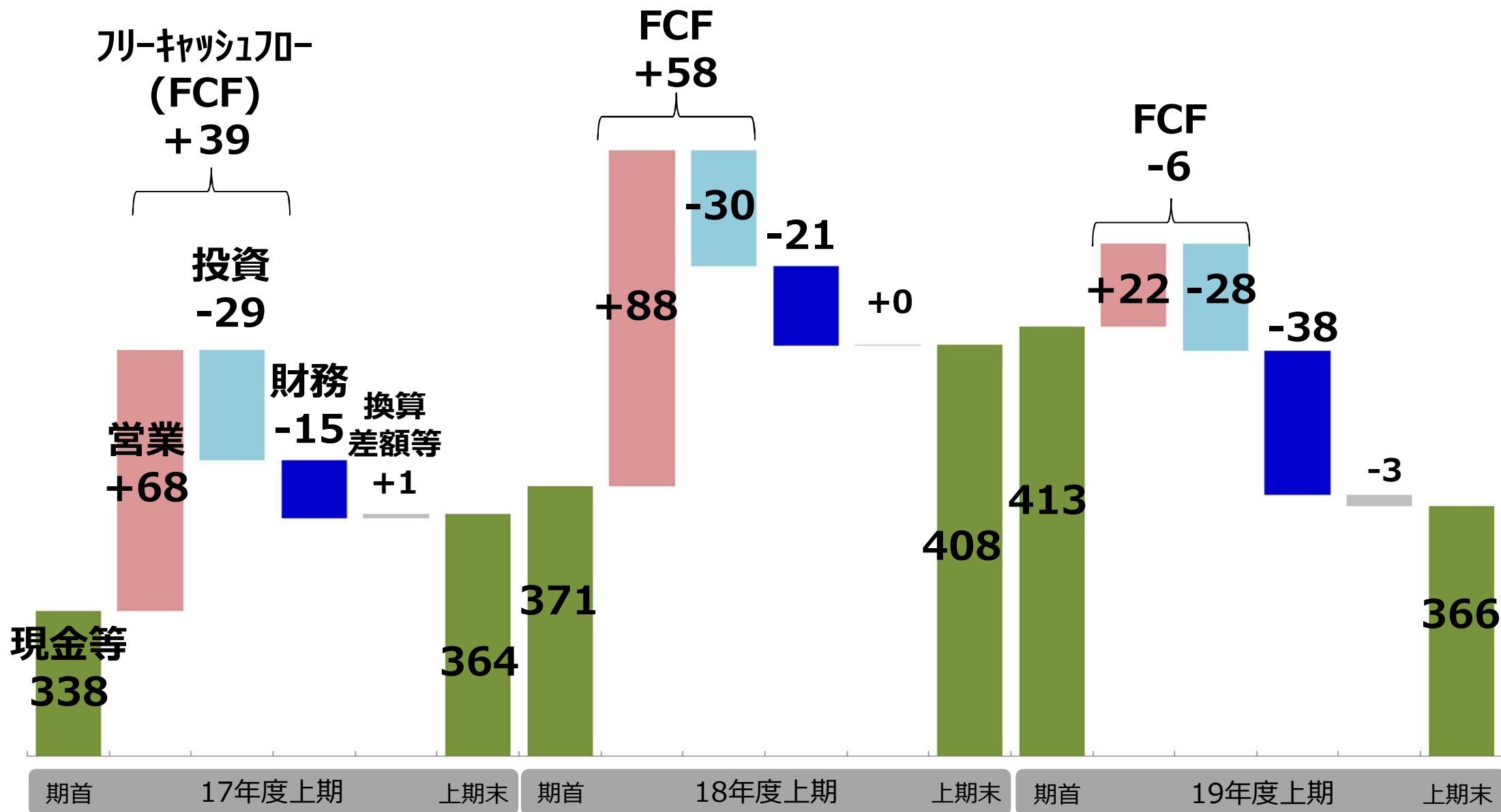
負債・純資産の部(億円)



# キャッシュフロー(CF)

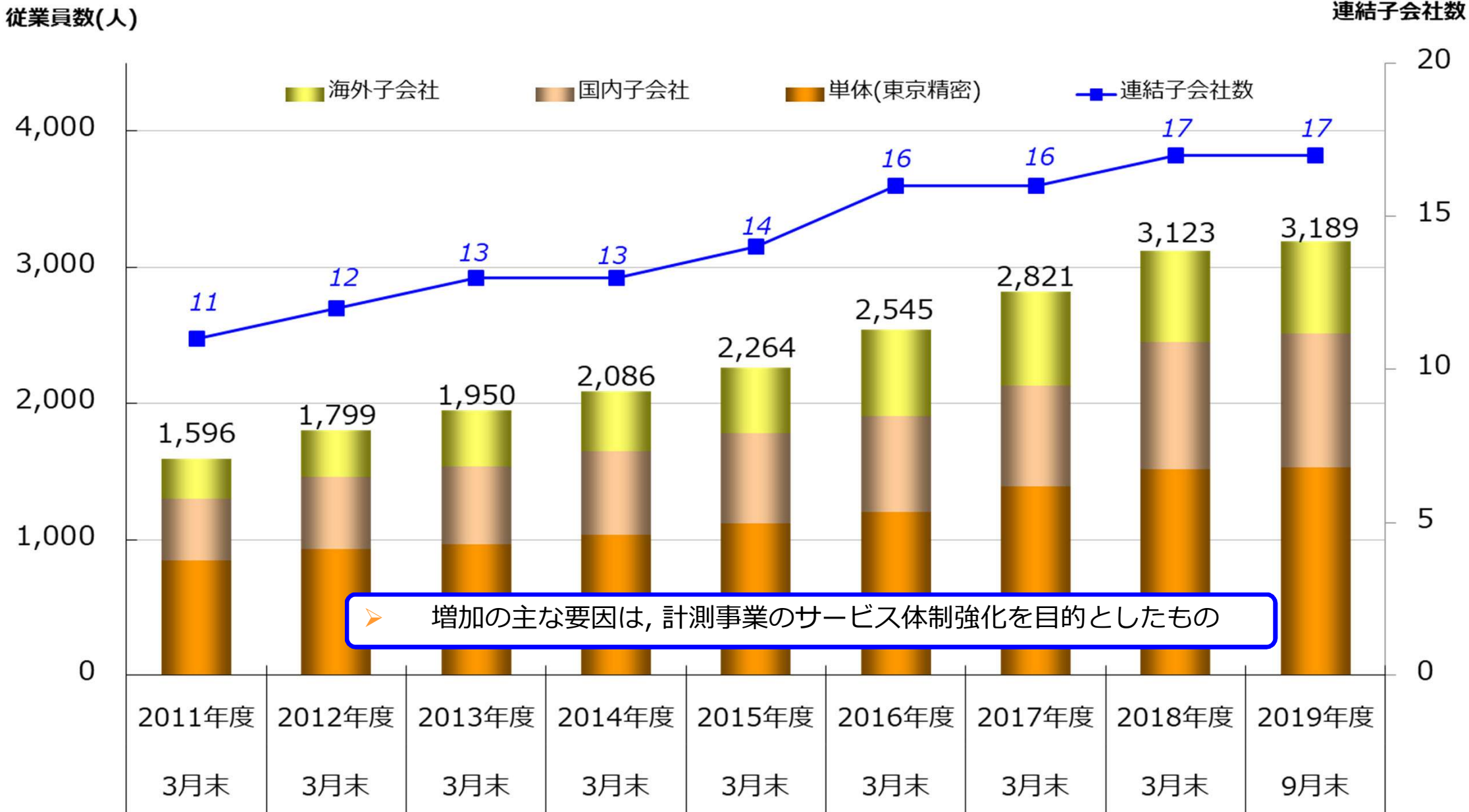


(億円)





# 従業員数推移



注) 上記従業員は、正社員と期末時点の臨時従業員の単純合算

## 次第

- ◆ 第2四半期 業績説明
- ◆ 中期目標
- ◆ 2019年度 業績予想
- ◆ 質疑応答

**長期指標 : ROE10%以上**

**中期目標 : 営業利益220億円**  
(2020年度迄に)



**売上拡大**  
(1,100億円を目指す)

両輪にて達成



**利益率向上**  
(営業利益率20%以上を目指す)

世界中の優れた技術・知恵・情報を融合して世界No.1の商品を創り出し、皆様と共に大きく成長してゆく

理念を示すモットー:

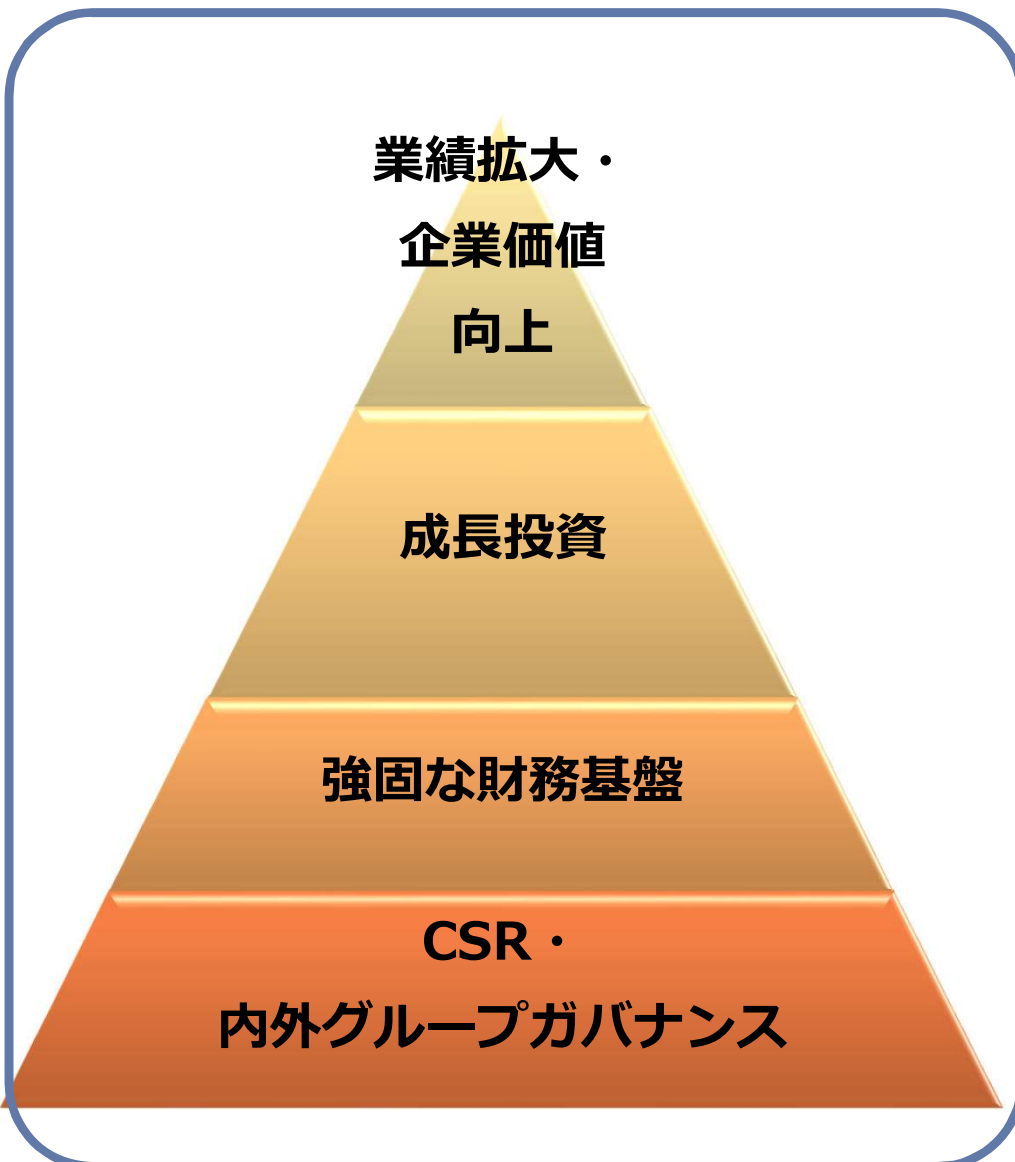
**「WIN-WINの仕事で世界No.1の商品を創ろう」**  
*WIN-WIN relationships create the World's No. 1 Products*

コーポレートブランド:

**ACCRETECH**

“Accrete (共生)” と “Technology(技術)” の合成語

## 企業理念実現のための枠組み



## 当社事業構成の特徴



The diagram consists of two main sections, each with a title in a rounded rectangle and a list of features in a light-colored box:

- 半導体 (Semiconductor):**
  - 強み:**
    - 精密位置決め制御技術
    - 内製化
  - チャンス:**
    - 新技術・新デバイス
- 計測 (Measurement):**
  - 強み:**
    - 高精度・高分解能測定技術
    - 信頼性
  - チャンス:**
    - 新分野・海外需要

**バランスの取れた事業構成**  
- 異なる事業領域を有することによる安定性 (需要変動影響を吸収)

## 技術面

**製品競争力強化, 対象市場拡大**

## 生産面

**生産能力拡充, 効率改善**(自動化, 省人化)

## 利益率改善

**情報共有化促進  
サービス, 消耗品売上の拡充**

**中期目標達成**

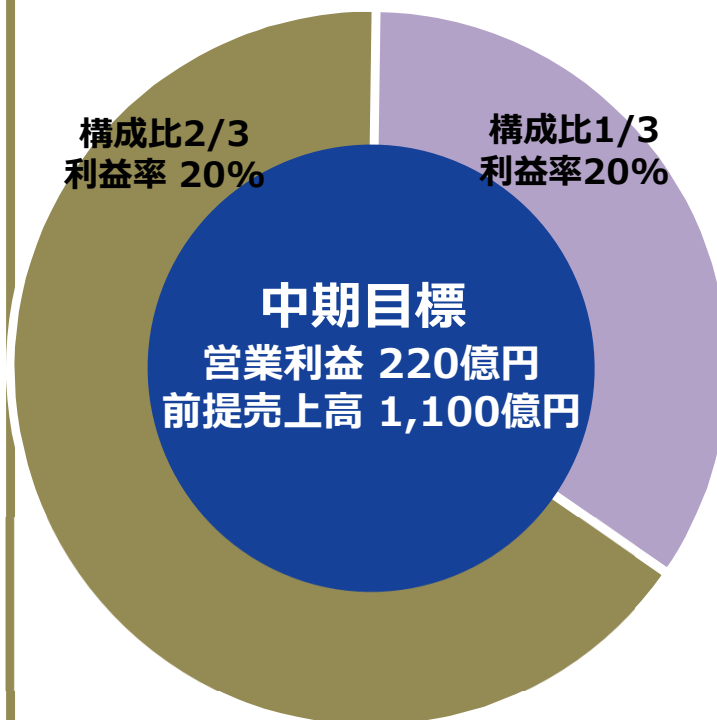


持続的な成長のために

**積極的にESG活動を推進し, 企業価値向上を図る**

## 半導体製造装置

- 検査装置(プローバ)の“デパート化”戦略継続による 更なる市場拡大
- 加工装置のアプリケーション力強化・連動したサービスビジネス並びに消耗品売上の拡大
- 内製化促進, 新工場運用



## 計測機器

- 電気計測 (充放電試験) 進出による 対象市場拡大, シナジーの最大化
- 既存製品群の差異化・国内外顧客開拓と, 連動したサービスビジネスの拡大
- 生産効率化・自動化



## キャパシティ拡充(半導体：日野工場, 美山工場)

- 用地・建物取得によりキャパ拡充
- 賃貸工場(美山)も活用中



## キャパシティ拡充(計測：土浦MI棟)

- 新棟(MI棟)着工
- 2020年度稼働予定
- 各種効率化・改善策を適用予定



MI: Monozukuri Innovation

### 効率化

- ERP 安定稼働
- 業務改善・効率化

### アプリ対応強化 (台湾新アプリセンター設立)

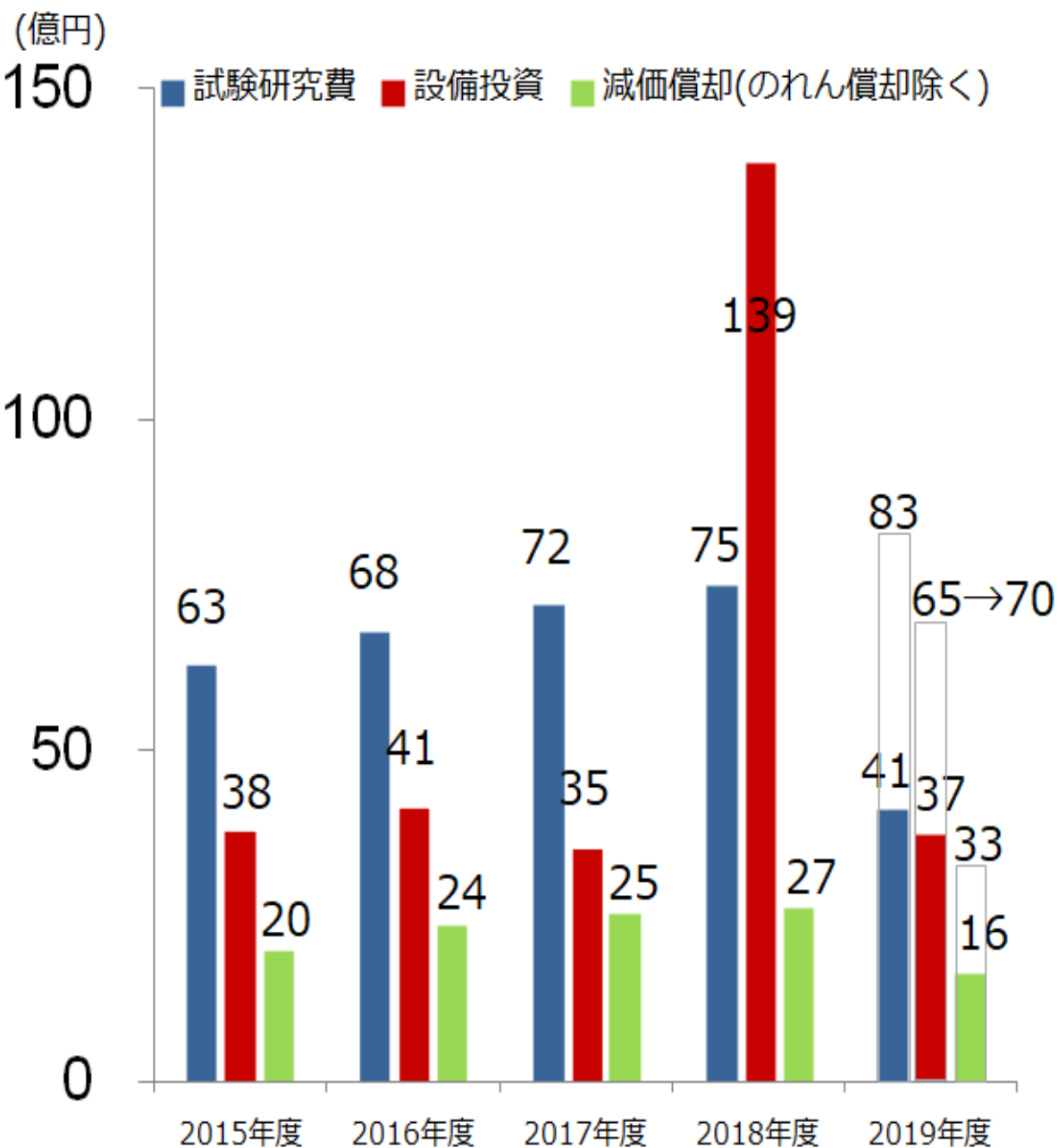
- 予定通り進捗中
- 2020年度稼働予定

### アプリ対応強化 (大阪アプリセンターリニューアル)

- 予定通り進捗中
- 2019年度稼働予定



# 試験研究費, 設備投資, 減価償却



## 研究開発：製品力強化・競争力維持

- 売上高対比10%内を目安に強化

## 設備投資：能力増強・効率化等

- 中期目標の期間内で200億円超を計画  
(新工場, 自動化, アプリ等)
- 2019年度は 計測新工場, アプリ投資中心
- 半導体 新棟(日野)建設 21-22年度計画

## 減価償却

- 2019年度はERP稼働により前年比増加
- 2020年以降は軽微な増加を見込む

## Environment(環境)

- 環境配慮型製品の開発, 温暖化防止, 資源削減: 取り組みを継続

## Social (社会)

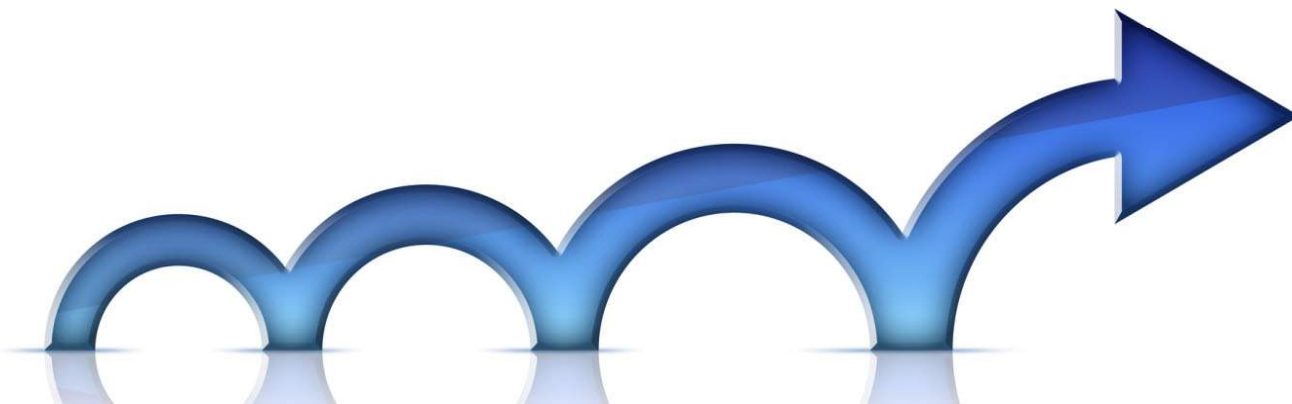
- 働き方改革: 女性活躍推進に注力(職域拡充, 柔軟なライフイベント対応)

## Governance(ガバナンス)

- コンプライアンス: 遵守体制・情報セキュリティ体制の強化
- リスクマネジメント: 事業継続計画(BCP) の強化



- **2019年度の事業環境は 当初前提より変化**
  - **半導体：大きな成長過程の踊り場**
  - **計測：当初想定より軟調**
- **両事業とも中長期の成長が期待できる**  
**2019年度は「準備の年」との位置づけに変更なし**
- **財務健全性を維持しつつ, 成長・開発投資は継続**



## 次第

- ◆ 第2四半期 業績説明
- ◆ 中期目標
- ◆ **2019年度 業績予想**
- ◆ 質疑応答

## 半導体

- ロジック向け中心に 設備需要回復の兆しあるも、本格回復のタイミングは更なる注視が必要
- 来たる市場拡大に備え、必要な研究開発・設備投資を継続

## 計測

- 国内外の自動車向け製品需要は軟調
- ものづくり全体の回復に伴う計測需要の回復は2020年度以降を見込む

# 2019年度 業績予想



連結業績 (億円, 円)	2018年度			2019年度				
	上期	下期	通期	上期	下期予	通期予	8月予想比	前期比
売上高	512	503	1,015	420	440	860	-20	-15%
営業利益 (営業利益率)	102 (20%)	100 (20%)	202 (20%)	56 (13%)	64 (15%)	120 (14%)	-5	-41%
経常利益	108	100	208	57	64	121	-4	-42%
当期純利益	79	68	147	43	47	90	±0	-39%
1株配当	125円(普通配105円, 記念配20円)			76円 ±0 -49円				

## セグメント別業績予想

(半導体)	受注高	397	256	653	229				
	売上高	358	333	691	276	274	550	±0	-20%
(計測)	受注高	175	161	336	154				
	売上高	154	170	324	144	166	310	-20	-4%

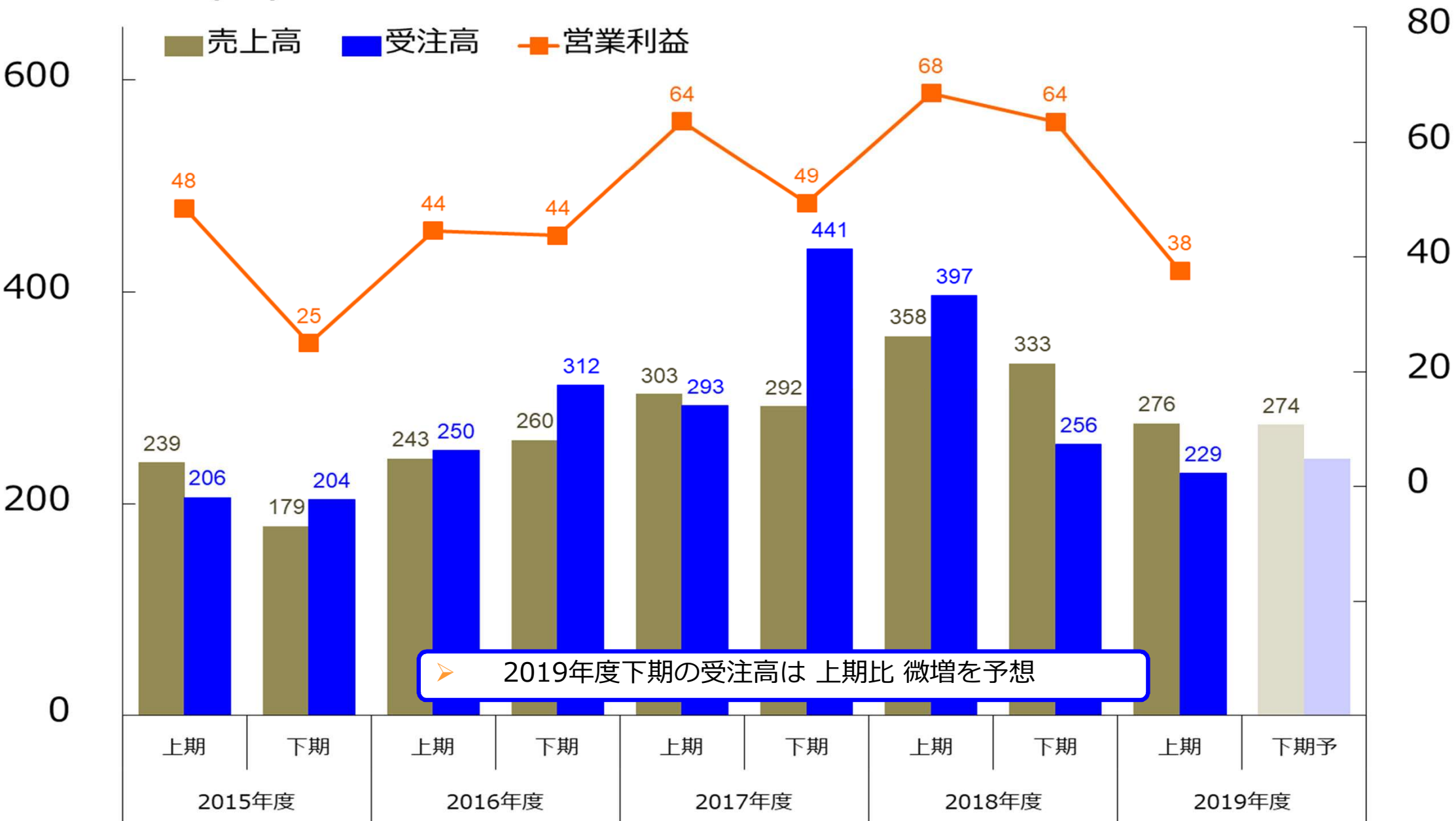
- 2019年8月9日発表の通期予想を修正
- 半導体製造装置部門は変更なし、計測は足許状況を踏まえ修正
- 当期純利益および通期配当予想の修正はなし

# 半導体 - 売上・受注高 見込



売上高・受注高(億円)

営業利益(億円)

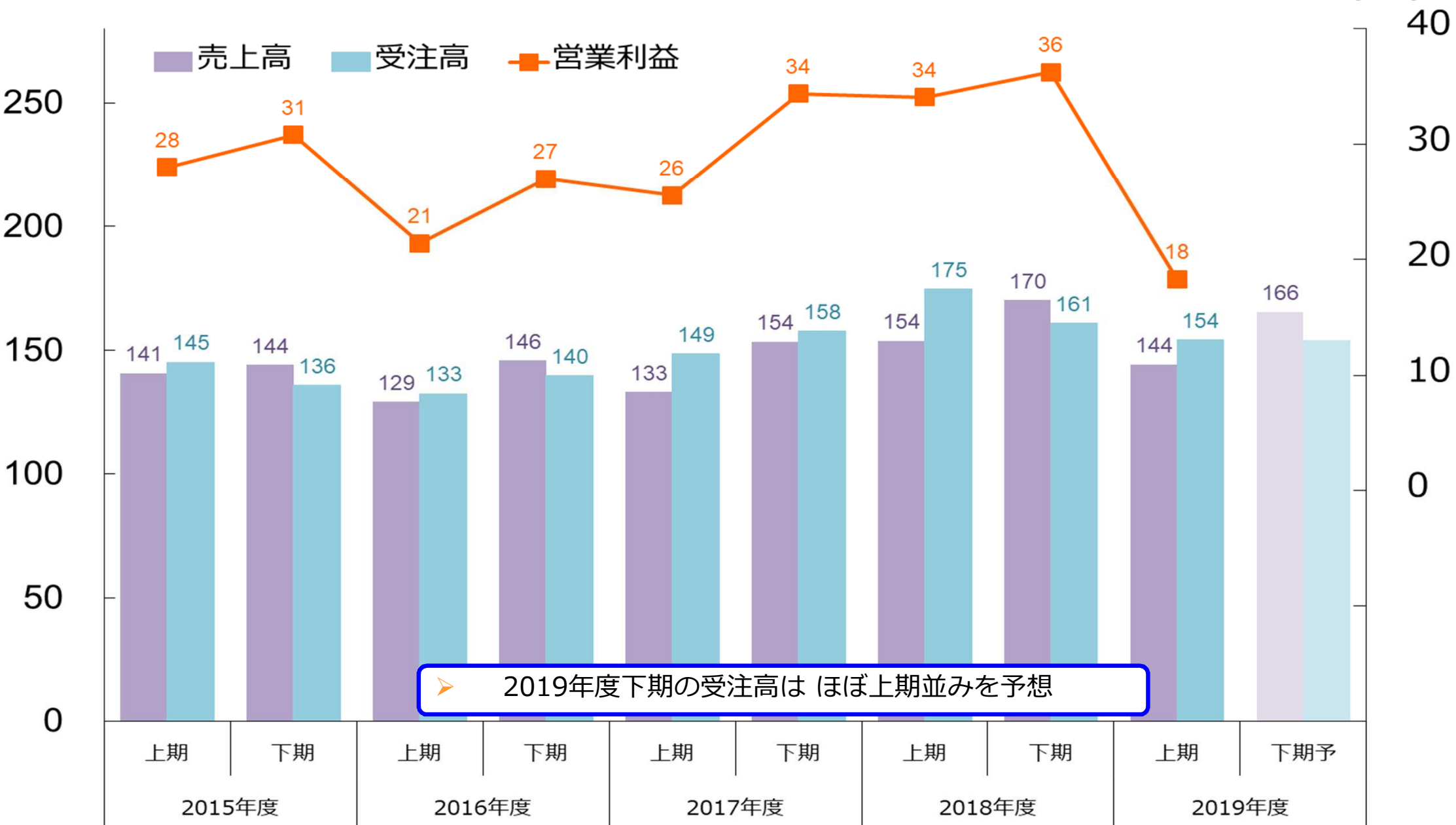


# 計測 - 売上・受注高 見込



売上高・受注高(億円)

営業利益(億円)





## 次第

- ◆ 第2四半期 業績説明
- ◆ 中期目標
- ◆ 2019年度 業績予想
- ◆ **質疑応答**



<http://www.accretech.jp/>

<https://ir.accretech.jp/ja/index.html>

